

# 農地・水・環境保全向上対策

守ろう地域！～子どもたちの未来のために！～

## 農地・水・環境保全向上対策「第6回みえのつどい」

平成25年12月21日(土)三重県総合文化センターにおいて、活動組織及び県内外の関係者約560名が一同に介し、「守ろう地域！～子どもたちの未来のために！～」をテーマに農地・水・環境保全向上対策「第6回みえのつどい」を開催しました。

### 〈メダカのコタローワンダーランドin三重〉

子供達に自然豊かな農村に住んでいる生き物を大切に、農村を身近に感じてもらうため「田んぼの生きものキャラクター」の作品を募集しました。県内外の子どもたちから応募いただいた106通の作品から、入賞者10名に賞状と記念品を贈呈しました。

また、「メダカのコタロー劇団」によるアニメ紙芝居「地域で農地・水・環境を守ろう くちびる城が外来生物にうばわれたって!？」の公演を行いました。



コンクール表彰式



アニメ紙芝居LIVE

### 〈セレモニー〉

開会式では、農地・水・環境保全向上対策協議会長の橋爪彰男農林水産部長より「新たに創設される日本型直接支払制度を有効活用していただく



協議会会長挨拶

とともに、こうした活動を持続的に発展させていくため、地域の食品関係企業などと連携し、地域資源を生かした新たな商品の開発・販売

など経済活動の創出に取り組んでいただきたい」とあいさつさせていただき、引き続き、優秀活動組織の紹介と表彰を行いました。



優秀活動表彰式

### 〈分科会〉

第1分科会は、「よりよい地域づくりに向けて」と題して「NPO法人TEAM田援」の筒井義富氏の講演と、座談会形式の意見交換会を行いました。

会場の様子



第1分科会の様子

第2分科会は、「景観作物の栽培について」と題して「福花園種苗株式会社美里農場」の藤田和義氏の講演と、座談会形式の意見交換会を行いました。



第2分科会の様子

第3分科会は、「小規模水路の診断と補修」と題して「土地改良技術事務所」の小島康宏氏の講演と、企業4者から水路補修の方法等の紹介を行いました。



第3分科会の様子

### 〈優秀活動組織の紹介〉

#### ◎施設部門・・・西池上やまびこ会(多気町)

農道、水路の草刈りや泥上げなどの保全管理活動に加え、老朽化した施設の補修を地域の皆さんで創意工夫しながら行っています。「やまびこ会通信」の発行や、活動記録DVDの作成により、この活動を次世代へ継承を図っています。

#### ◎農村環境部門・・・榊原みずすまし会(津市)

農村景観形成の一環として、「田んぼアート」を、平成22年度から計4回実施しています。地元の久居農林高校の学生も測量作業に参加するとともに、田植えには都市部からの参加を含めた約350名が参加し大いに賑わいました。

#### ◎コミュニティ部門・・・べこじ俱樂部(多気町)

「花づくり」、子どもたちの「芋づくり」の取組は、コミュニティに欠かせないイベントとして定着し、子ども達の歓声や活動参加者の笑顔が、事業展開の要となっています。多くの方に活動を知ってもらうため、WEBアルバムや広報誌による情報提供を行っています。

〈みえのふるさと交流フェア〉

活動紹介パネルと田んぼの生きものキャラクター作品の展示、各活動組織のPRブース、農村のきずなから生まれた農産物の配布を行いました。



活動内容の説明を受ける参加者

農産物の配布ブース

〈活動紹介パネル〉

「活動紹介パネル」を募集し、第6回みえのつどいにおいて展示しました。来場者投票を行った結果、以下の活動組織の活動パネルの投票数が上位となりましたので紹介します。

応募いただいた活動組織の皆さん、おめでとうございます。

順位	活動組織	市町名
1位	むらおこし・かみみいと	明和町
2位	菰野町水土里の郷の会	菰野町
3位	コスモスの里比自岐保全協議会	伊賀市

## 東海農政局「農地・水シンポジウム」開催 ～農村地域における環境活動と相乗効果～

去る1月24日(金)に名古屋市中区の東建ホールにおいて、東海三県の農地・水の関係者約320名が参加し、「農地・水シンポジウム」が開催されました。

農村地域では、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理と農村環境の保全向上の取組を推進するため「農地・水保全管理支払交付金」を活用しています。さらに、地域資源の保全と併せて農村の自然環境を保全していくには、豊かな農村空間を創造するとともに子供たちが地域を守って行くようなコミュニティが重要です。そのため東海農政局が主催となり、農村が有する多面的機能の大切さを再認識してもらうことを目的にシンポジウムが開催されました。



受賞された活動組織の記念撮影

の保全と地域振興」と題しての基調講演があり、引き続き表彰式に移り東海農政局長賞、農村振興技術連盟賞、中日新聞社賞の受賞団体の発表と活動内容が映像等で紹介された後、受賞された6つの活動組織が壇上に上がり表彰状が授与された。

東海農政局森多可志局長の開催挨拶の後、宇都宮大学農学部守山拓弥講師より「農地水活動を通じた農村環境

賞名	組織名	県名	市町村名
東海農政局長賞	笠郷地区環境保全対策協議会農地・水環境保全組織	岐阜県	養老郡養老町
	早尾資源保全会	愛知県	愛西市
	伊勢寺地域環境保全向上活動をする会	三重県	松阪市
全国農村振興技術連盟賞	うがわら自然を守る会農地・水・環境保全組織	三重県	菰野町
	田光資源と環境を守る会	三重県	菰野町
中日新聞社賞	どじょっ子くらぶ	三重県	いなべ市

表彰式の後、「農村地域における環境活動とその相乗効果」と題して、パネルディスカッションが伊藤健吾准教授をコーディネーターに、「日本型直接支払制度の創設」と題し

て、東海農政局整備部農地整備課諸岡課長の講演があり、その後東海農政局清家英貴局次長の閉会の挨拶があり、盛会裡に閉会した。